

日刊岩城時報

福島県石城郡平町大字高屋町十四
編集発行人 関田弘成
印刷所 加納活版所
福島県石城郡平町大字高屋町十五
發行所 磐城時報社
一部金武銭一ヶ月金參拾錢
廣告料一月十四字詰金五十錢
日刊(日曜祭日休刊)

平水道の國庫補助

八年八千圓交附する
起債も必然的に認可

明年二月頃着工

平町では慶報の如く上水道擴張附工事を計劃し工費三十七萬圓で

この捻出方法は二十萬圓起債、定すれば必然的に實現するもの

を運動中であつたが、内務省に乾

藏兩省でも平町の計劃が全く必要に迫られてゐる事が判つたのである。

平町では慶報の如く上水道擴張附工事を計劃し工費三十七萬圓で

この捻出方法は二十萬圓起債、定すれば必然的に實現するもの

を運動中であつたが、内務省に乾

藏兩省でも平町の計劃が全く必要に迫られてゐる事が判つたのである。

繩市場に設置計画

設立費は三萬圓位

尾形主事八方奔走中

石城販賣利用組合では四倉繩市場を經營した結果は頗る好成績で本年の取引高は春繩一萬四千手數料として市場に入つた歩合余貲、秋繩二萬五千余貯、合計は六千七百圓余になつてゐる、

共産黨の新田日中尉引致される

するので組合の基本財産に幾分の補助と支出を求めれば實現はさほど困難なものではなく中央

金庫からの運轉資金も二市場に好都合になるので同組合でも

それで二十萬圓位は融通が出来

る由であり四倉、平の二市場に於てこの運轉資金を各自連絡を設し養蠶家の繩市場取引きを奨励する様それぞ盡力する事に

石城郡玉川村が前村長に對し弔

慰金を贈呈するに當り現村長駒

木根忠三郎氏が未だ金額の決議

が八方奔走中であり明春から實

現の運びに至るのはいかと

繩倉庫の設立費は約三萬圓を要

るから明年三月に着工する豫定

である。

乗合自動車墜落

磐崎村地内の椿事

▲平町物價調査 平町

業片寄朝雄方六七號乗合自動車を同家の運轉手吉田貫一(二

三)が運轉五日午後六時頃小名頭の増加であるが

三)が運轉五日午後六時頃小名頭の増加であるが

三)が運轉五日午後六時頃小名頭の増加であるが

三)が運轉五日午後六時頃小名頭の増加であるが

三)が運轉五日午後六時頃小名頭の増加であるが

三)が運轉五日午後六時頃小名頭の増加であるが

三)が運轉五日午後六時頃小名頭の増加であるが

三)が運轉五日午後六時頃小名頭の増加であるが

公文書偽造で玉川村長弔慰金問題 前村長弔慰金問題

石城郡玉川村が前村長に對し弔

慰金を贈呈するに當り現村長駒

木根忠三郎氏が未だ金額の決議

が八方奔走中であり明春から實

現の運びに至るのはいかと

繩倉庫の設立費は約三萬圓を要

るから明年三月に着工する豫定

である。

借り倒して逃げた男

路上で逢つて殴らる

野犬買上げ

平警署では來町赤津庄兵衛外二名

七日まで一週間縣下一齊に行は

来町赤津庄兵衛外二名

七日まで一週間縣下一齊に行は

来町赤津庄兵衛外二名

七日まで一週間縣下一齊に行は

来町赤津庄兵衛外二名

七日まで一週間縣下一齊に行は

来町赤津庄兵衛外二名

七日まで一週間縣下一齊に行は

来町赤津庄兵衛外二名

ち切れずに藏米をざしく手放しそれに不景氣の結果酒造石高の減少による剩余米も多い結果は市場の相場を低落する事にな

る事があるまいとみられるが、豊年萬作の夢が一朝にして破れて減收となり、而も昂騰を見越されてゐる始末に石城地方農家は青息吐息である。

同市場の四ヶ年間に於ける純益

金は一萬五千圓に達し組合の基

本財産として積立てられてある

が此の基本財産を活用して兼て乾

繩倉庫の設立並に乾繩倉庫を建

設し養蠶家の繩市場取引きを奨

励する様それぞ盡力する事に

好都合になるので同組合でも

金庫からの運轉資金も二市場に

好都合になるので同組合でも

金庫からの運轉資金も二市場に

好都合になるので同組合でも

金庫からの運轉資金も二市場に

同組合でも金庫からの運轉資金も二市場に

